

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業	総事業費	4,436,289					4,436,289
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
2	城下町くろばね 地域活性化事業	総事業費	2,395,298					2,395,298
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
3	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業	総事業費	2,110,607					2,110,607
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
4	大田原市黒羽食文化普及推進事業	総事業費	1,545,975					1,545,975
		うち市町支出額	1,000,000					1,000,000
		うち県交付金	500,000					500,000
5	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業	総事業費	2,200,000					2,200,000
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
6	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業	総事業費	4,490,717					4,490,717
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
7	あかがしの森保全および地域利用推進事業	総事業費	1,102,039					1,102,039
		うち市町支出額	1,100,000					1,100,000
		うち県交付金	550,000					550,000
8	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業	総事業費	1,149,000					1,149,000
		うち市町支出額	1,000,000					1,000,000
		うち県交付金	500,000					500,000
9	フクローの郷 地域活性化事業	総事業費	419,851					419,851
		うち市町支出額	400,000					400,000
		うち県交付金	200,000					200,000
10	両郷地区伝統芸能継承事業	総事業費	1,030,003					1,030,003
		うち市町支出額	1,000,000					1,000,000
		うち県交付金	500,000					500,000
市町計		総事業費	20,879,779	0	0	0	0	20,879,779
		うち市町支出額	14,500,000	0	0	0	0	14,500,000
		うち県交付金	7,250,000	0	0	0	0	7,250,000

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市 町 名	大田原市
事 業 名	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業
事業主体の名称	那須の郷高館活性化ネットワーク
代表者の名称	高崎 真美
事業主体の所在	324-0206 大田原市中野内1226-2
事業主体の概要	団体の目的:市内北部の両郷周辺地域の活性化 設立年月日:平成25年4月1日 構成員等: 地区住民約50人(有機的、かつ総合的に活動しているメンバーがその中心的役割を担う)
当該事業に係る地域の現状と課題	両郷地区は、市内でも高齢化・過疎化が進んだ地区であるが、里山の豊かな自然に囲まれ、県内でも有数の農畜産物を産出する肥沃な穀倉地帯や那須与一宗隆公が居城したと伝えられる高館城址「黒羽藩」があるほか、郷土芸能(獅子舞、ささら、神楽、雅楽、太鼓)が盛んであった地区である。そのため、これらを活用して地域活性化を図るべく、平成20年から「那須の郷 高館まつり」を6回開催し地域の住民がお互いに文化芸術を情報発信する等、自主的なつながりが生まれつつある。しかし、地域を大切に思い地域を支える人材、特に次世代を担う人材が減少していることから、いかにして人材を確保・育成し、外から人を呼び込んでいくかが課題となっている。
事業目的	里山の自然や地域産業・農産物を生かしながら、郷土芸能・伝統行事を継承することにより、地区の子どもの郷土愛を醸成し、地域住民同士の交流を促するとともに、地区外の人(特に若者)に興味をもってもらうことで、交流のきっかけ、ひいては移住のきっかけをつくることをねらう。
事業概要	【平成28年度】(下線は平成28年度からの取組) ①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ・獅子舞、ささら、神楽、雅楽等の郷土芸能や民間伝承等の調査・研究・記録 ・教育委員会と連携した社会科・美術科の教材開発研究(デジタルデータ化) ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ・高館祭りの開催(開催時期・場所: 11月19～20日 大田原市芸術文化研究所) 郷土芸能の披露、よさこい、芸術文化研究所作品展、彫刻制作等 ・各種イベントに両郷米、農畜産物を試食等してもらうブースを出展。 ・小学生による「農民道全一太鼓」「与一・屋島の合戦」の演奏、演劇等への協力 ・両郷地区の魅力を伝えるため団体ホームページをリニューアルした。 ③大田原市の地域資源である「那珂川」を活用したイベントの開催 ・鮎釣り大会の実施(9月4日) 【平成29年度以降】 ・前年度の事業の評価を踏まえて、上記①、②を継続し、③を実施し、地域の魅力を一層高める。 ・④周辺整備(高館城跡、地区内のヤマザクラ)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計) 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 320万人(平成26年度 304万人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成				
事業費	4,436,289			4,436,289	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,436,289	0	0	2,436,289	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	城下町くろばね 地域活性化事業
事業主体の名称	黒羽・那珂川 あゆめの会
代表者の名称	直筧 浩子
事業主体の所在	〒324-0241 大田原市黒羽向町55 株式会社商美社内
事業主体の概要	・団体の目的:江戸の城下町として栄えた黒羽は、芭蕉の里でもあり、那珂川の舟運は様々な富と文化をもたらしてくれ、今なおその行末が随所に残る。その財産を地域住民が再認識することにより、地域社会の活性化・地域おこしに寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成26年3月15日 ・構成員等:元気な那珂川の鮎女(あゆめ)そしてしっかり歩みをモットーに、黒羽地区の女性で組織する。
当該事業に係る地域の現状と課題	本会は、平成25年度の「大田原市街かど美術館」の会場となった「猪股邸」で美術展の評判を受けて、継続して古今の地元作家による芸術作品を多くの人々が鑑賞できる機会をつくることのできる美術展を開催するために結成された。平成26、27年度に「城下町くろばね展」を開催した結果、地域の街並み・建物・作品の素晴らしさを再認識したとの声が多く聞かれ、一定の成果はあった。しかし、未だ、居住人口の減少に歯止めがかかっていない。いかにして地域住民が地域資源を活用し、地域活性化に携わろうとする機運を高め、地区から転出する人を抑制するかが課題となっている。
事業目的	築100年という地域の伝統ある日本家屋において、地域住民が若い世代を巻き込んだイベントや講座等を開催することにより、若者をはじめとした地区内外の人を地区に呼び込み、黒羽地域に残る歴史・文化・自然の良さを知ってもらうことにより、地域の魅力を再発見したり、地域に関心をもつきっかけをつくることと、住民等の相互交流を深め、地域に愛着をもってもらうことで、住み続けたいという思いを深めてもらうことを目的とする。
事業概要	【平成28年度】(下線は平成28年度からの取組) 《地域住民自身による地域資源の魅力発見・発信》 ①城下町くろばね展の開催(開催時期:5月21日～29日(9日間) 開催場所:猪股邸) ・版画、書、鎌倉彫、油絵、陶芸、藍染、木工芸、七宝焼 黒羽在住の方7名の作品展示 ・黒羽地区の小学生の絵画・版画展示、ふるさとの玩具コレクション展示、陶人形の展示 ・寄席(外部・プロ)、弦楽4重奏(外部・プロ)の演奏、茶室、庭園の散策 ②黒羽再発見講座の開催(市内在住の外部講師を招へい) ○藍染講習会(8/30紺屋染物店)、○健康づくり料理教室(9/9黒羽・川西地区公民館)、○七宝焼体験(9/24大田原市芸術文化研究所)、○オリジナルスカーフづくり(10/2黒羽・川西地区公民館)、○牛乳パックでゴミ箱づくり(10/7黒羽・川西地区公民館) ③高校生との交流事業(草木染め講習会)10/13 黒羽高校 【平成29年度以降】 前年度実施結果を評価分析し、継続して実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸福感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進」) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①城下町くろばね展 ②黒羽再発見講座の 開催 ③高校生との交流事業				
事業費	2,395,298			2,395,298	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	395,298	0	0	395,298	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業
事業主体の名称	金丸地区活性化協議会
代表者の名称	新江 章平
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 株式会社大田原ツーリズム内
事業主体の概要	<p>団体の目的:地域の住民、大学生、団体などを巻き込みながら、金丸地区内の自然や文化資源を活かしたイベントやボランティア活動を通して、観光地化し、交流人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成26年4月1日</p> <p>・構成員等:金丸地区を中心とする住民や団体、学生等のボランティア</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	本協議会は、歴史や自然、文化的な地域資源があるにもかかわらず、地区の住民でさえそのことを知らない状況があったため、平成26年に国重要文化財である那須神社でジャズライブを開催するなどして、地域資源の価値を再認識してもらった。これにより、地域の価値を見いだす住民が徐々に増えてきているが、まだまだ地域資源の価値の認知度が低く、また、それぞれが連携して取り組む活動がない状況にある。今後、どのようにすれば住民同士が相互に協力し、連携しあうことができるか検討していく必要がある。
事業目的	【新たな人の流れの創出と地域づくりのリーダーの育成】 地区の住民自身が、地域の歴史、自然、文化の価値に気づき、積極的にイベントやガイド養成等の多様な仕掛け、継続的に地域資源の情報発信に取り組むことにより、交流人口の増加を図るとともに、地域づくりの担い手を発掘、育成することを目的とする。
事業概要	<p>【平成28年度】(下線部は今年度からの取組)</p> <p>①菊花祭&音楽祭りの開催 開催予定:菊花祭 11月7日~11月13日、音楽祭り 11月13日 開催場所:那須神社</p> <p>②菊花祭に向けて自分たちで菊を栽培する事業(4月20日~11月21日)</p> <p>③イベントに向けて地域の課題に賛同した方たちと地域市民とで自ら行うボランティア整備事業(地域清掃奉仕活動 7月28日)</p> <p>④イベントに向けた会場及び周辺の整備</p> <p>⑤子どもから大人までが集まり、地域活性化のために課題を解決するワークショップの開催(12月1日~ 6回開催)</p> <p>⑥ボランティア地域ガイドの運営に向けた事業</p> <p>⑦地域活性化に向けた認知度を高めるための案内看板、パンフレット、ポスター、販促ツールの作成</p> <p>⑧地域資源を活かした交流人口を増やすための事業</p> <p>【平成29年度以降】 前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①菊花祭&音楽祭りの開催 ②菊の栽培事業 ③地域清掃奉仕活動 ④イベントに向けて会場周辺整備 ⑤ワークショップ ⑥地域ガイド事業 ⑦案内板・看板・ポスター・販促ツール作成 ⑧地域資源を活かした交流人口を増やすための事業				
事業費	2,110,607			2,110,607	
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	110,607	0	0	110,607	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.itsuka@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	大田原市黒羽食文化普及推進事業
事業主体の名称	黒羽ながら会
代表者の名称	清矢 彰
事業主体の所在	〒324-0234 大田原市前田928-1
事業主体の概要	<p>団体の目的:大田原市黒羽の優れた地域資源や特産品を使用し、黒羽ご当地グルメを確立することにより、大田原市の魅力を高め、地域経済の活性化を図るとともに、昔ながらの食文化を大切に、時代にあった商品開発の意欲を高め、清流からの恵みとその清流を未来に引き継ぐ活動を展開する。</p> <p>・設立年月日:平成23年2月10日</p> <p>・構成員等:大田原商工会議所、黒羽商工会及び大田原市観光協会の会員</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大田原市黒羽の「自然」「歴史」「文化」「食」関連の観光地や商品が既にあるが、市内外での認知度が低く、それらを活用した観光誘客や売上増加につなげていない。これまでに鮎を材料にした商品開発を行い各種イベントに出店し、PRをしてきた。その結果、地域住民・関係者を広く巻き込み、自らが地域の魅力に気づき、「自分ごと」としていくことや地域の魅力を積極的に発信し、地域を盛り上げていく人材を増やしていくことが重要であることが分かった。今後は、地域住民・関係者の一体感をいかに醸成していくかが課題である。</p>
事業目的	<p>生産者、加工業者、販売者等の各関係者が、「ご当地グルメ」の商品開発、販路拡大、PRを一体的に取り組むことにより、地域に関わる人同士の信頼関係を高め、先頭に立って地域を盛り上げる人材を育成するとともに、地域の魅力を自らの言葉で発信することで、市内外からの観光客を増加させ、地域住民・関係者、地域経済の好循環を図る。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】(下線は平成28年度からの取組)</p> <p>①地域資源や特産品を活用し、時代に合ったご当地グルメの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに開発してきた地域の特産品「鮎」を使った商品の改良 ・子どもが好む「鮎」を使った商品の開発(子どもの川魚離れ解消のため) ・これまで食材として利用されず廃棄されてきた「鮭」を使った商品の開発 <p>※以上を、手に取ってもらえるようパッケージデザイン、ネーミングを工夫し、一目でわかるようなシールを貼る。</p> <p>②イベント開催によるご当地グルメのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あゆまつり(6/10～6/11 道の駅那須須与一の郷)、那珂川清流まつり(10/29 道の駅那須須与一の郷)の開催 <p>③各種イベント等での試食、販売等による販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与一くん誕生会(4/30 道の駅那須須与一の郷)、那珂川鮎まつり(5/29 なかがわ水遊園)、道の駅那須須与一の郷15周年記念イベント(6/5)、くろばね紫陽花まつり(6/18～7/10 黒羽城址公園)、那須地区郷土芸能フェスティバル(8/20道の駅那須須与一の郷)、全国ご当地キャラクタースポーツ大会(9/4 県北体育館)、那珂川あゆ街道まつり(9/11 なかがわ水遊園)、天狗王国夏祭り(10/23なかがわ水遊園) <p>【平成29年度】</p> <p>①～③の取組を評価・検討をした上で事業を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】大田原市への新しい人の流れをつくる(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①ご当地グルメの開発・改良 ②ご当地グルメのPR ③イベント出店				
事業費	1,545,975			1,545,975	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	545,975	0	0	545,975	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohtawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業
事業主体の名称	大田原農畜産物普及促進協議会
代表者の名称	佐藤 弘子
事業主体の所在	〒324-0013 大田原市鹿畑1番地 前田牧場バーベキュー広場内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:大田原市が生産する農畜産物を使用して新商品を開発し、特に大田原市南部地区の活性化を図ることを目的とするものである。また、活性化の要因となる人の集いを促進することも目的に掲げる。</p> <p>・設立年月日:平成28年6月1日</p> <p>・構成員等:ユニーよいち協議会のメンバー2名とスマイルフーズ佐藤の3名を中心に地域の自治会(鹿畑、奥沢、倉骨、宇田川)等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>市内南部地区(鹿畑、奥沢、倉骨、宇田川)は、市内の地区の中でも牛肉やいちご等の農畜産物の生産が盛んであるが、特段ブランド化されたものがなく、地域の魅力がうまく伝わっていない。そこで、本協議会を立ち上げ、地域住民等が連携して地区の活性化に取り組む体制を整えた。</p> <p>今後は、いかにしてこの地区及び農畜産物を知ってもらい、地域の魅力を発信していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>地区の住民や関係者たちが注目度のあるギネス記録に挑戦することにより、住民同士の一体感を醸成するとともに、地域の魅力に自ら気づき、自主的に地域の魅力を伝え、外から人を呼び寄せる取組を促進することを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元農畜産物を使った新商品開発に向けた勉強会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・いちご関連水菓子勉強会 3回 ○試作品の発表会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・天狗王国まつり大田原グルメ・逸品物語に出店(10月23日 牧場焼きどんぶり) ・大田原市産業文化祭に出店(11月5日、6日 ビーフンチャー) ○ギネス記録挑戦イベント開催の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生にアンケートを実施した。 ・野菜串焼きの長さでギネス記録に挑戦する方向となった。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの実施結果を活かし、継続して商品開発及び自主的なイベントを開催する。 ・ギネス記録挑戦イベントの開催(平成30年3月に挑戦予定) <p>【平成30年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの実施結果を活かし、継続して商品開発及び自主的なイベントを開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の農畜産物を使った新商品開発 ・ギネス記録挑戦イベント開催の検討 				
事業費	2,200,000			2,200,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	200,000	0	0	200,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業
事業主体の名称	大田原市星旅祭実行委員会
代表者の名称	八木沢 政和
事業主体の所在	〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目2805番地3 大田原地域職業訓練センター内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:環境省が認める「日本一の星空」に4度も選ばれた大田原市の地域資源の一つである星空を活用して、都会から人を呼び込み、賑わいを創出するとともに、市民に市内の景観の素晴らしさを改めて再発見してもらうことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成28年4月25日</p> <p>・構成員等:地域おこし協力隊、観光関係者、地元商工業者、NPO、学生等のボランティア</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大田原市では何年も前から人口減少・少子高齢化が問題となっているが、人を呼び込む策を見つけれず「にいた。しかし、実は、大田原市には、環境省が認める「日本一の星空」に過去4度も輝くなど、日本有数の星空観賞に適した場所という貴重な地域資源がある。市民にとっては星がきれいに見える空は当たり前であるため、星空が人を呼び込める大きな地域資源であるという認識を持っていなかった。</p> <p>そのため、今後大田原市の人口減少・少子高齢化を食い止めるためには、いかにしてこの「日本一の星空」を活用して人を呼び込むか、住民自らが外に誇れる地域の魅力を認識し、PRしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・市民自身に地域の魅力を認識してもらう。</p> <p>・大田原市を訪れるきっかけをつくる。</p> <p>・大田原市の魅力(「日本一の星空」)を外にPRし、大田原市の知名度を向上させる。</p> <p>・来場者に大田原市の魅力を知ってもらい、移住定住を促す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>《大田原市を訪れるきっかけ》</p> <p>① 大田原市の星空の素晴らしさをPRするイベントの開催 「星旅祭2016inおわたわら」の開催 開催時期・場所:10月1日(新月)、ふれあいの丘 満点の星空の下、癒しの音楽に酔いしれながら、夜風に吹かれる至福のひと時を魅力的な大田原の文化やグルメもまめて楽しめるイベント</p> <p>② ふれあいの丘で宇宙や星とコラボしたミニイベントの開催 星空シアター(星空の下での映画鑑賞 5月11日)、星空ファンタジア(クラシック音楽を聴きながら、星空解説を楽しむイベント 7月4日)、星空ディスコ(星空の下サイレントディスコを楽しむイベント 8月3日)、星空撮影会(9月1日)、オリジナルステラボード作成会(9月3日)</p> <p>《PR》</p> <p>・HPを新たに立ち上げるとともに、とちぎ旅ネット、ゆこゆこネット、日本旅行などへリンク掲載するほか、ポスターを作成し、市内各施設、関東圏の天文関連施設にポスター掲示を依頼する。</p> <p>《魅力を知ってもらい、移住定住を促す》</p> <p>・星空をメインテーマとしつつも、観光パンフレットの配布、大田原グルメの販売、体験を交えた大田原の竹工藝などの文化を紹介することで、将来的な移住者の増加につながる第1ステップとしての「大田原市を知ってもらう施策」を実施する。</p> <p>【平成29年度】</p> <p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①星旅祭2016開催 ②ミニイベント開催				
事業費	4,490,717			4,490,717	
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000			2,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,490,717	0	0	2,490,717	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	あかがしの森保全および地域利用推進事業
事業主体の名称	大豆田あかがしの森保全会
代表者の名称	小林 真先
事業主体の所在	大田原市大豆田142
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:1113年前に創建された大豆田の湯泉神社にある栃木県指定天然記念物「湯泉神社社叢」(樹齢600年)を後生に残すための保全活動や地域活性化事業を実施する。 ・設立年月日:平成28年5月22日 ・構成員等:事業の目的に賛同する大豆田地区の住民で構成する。
当該事業に係る地域の現状と課題	湯泉神社のアカガシは、地域の誇りであり、市内外からカメラ愛好家等が訪れる名所となっている。しかし近年、その樹勢に衰えが見られ、枯死する可能性が樹木医から指摘されており、地域の交流の拠点が失われつつある。この貴重なアカガシの森を後生へとつなげるため、専門家の協力を得ながら地域活動で保全や地域活性を図る必要がある。
事業目的	地域の心の寄り所となっているアカガシの樹勢を回復させ、イベントを開催して地域住民同士、市外からの観光客との交流の場を設けることにより、新しい人の流れをつくるとともに、地域の一体感の醸成を高め、地域に誇りをもつ人を増やし、地域づくりの人材を育成することをめざす。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住民によるアカガシの森の管理・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・樹木医指導の下、地域住民で軽剪定、落葉掻きなどによる土壌改良を行った。(9/24、9/27) ・剪定枝は次年度に自然体験クラフト(鉛筆づくり、鉛筆立て、キーホルダー)として活用する。 ②地域交流イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント流しソーメンの開催(8/11)、例大祭に合わせた相撲甚句、子ども相撲の開催(10/9)、餅つき大会開催(12/11) ・イベント開催にあわせ、地域回覧、SNSで周知した。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①、②を前年の取組を評価検討したうえで実施する。 <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①、②のほか、③学校教育等での活用を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 5,000人【平成26年度 4,790人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①アカガシの森の管理 ②あかがしの森の地域活動による保全 ③地域交流イベントの開催				
事業費	1,102,039			1,102,039	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,100,000			1,100,000	
うち県交付金	550,000			550,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	2,039	0	0	2,039	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業
事業主体の名称	大田原龍城せせらぎの舞実行委員会
代表者の名称	五月女 昌巳
事業主体の所在	〒324-0063 大田原市町島341
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 伝統文化・芸能の周知と伝承及び友好関係都市との交流 設立年月日: 平成27年6月28日 構成員等: 関係自治会長、土地改良区維持管理委員会、駐在所、地元企業、那須赤十字病院等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原小学校の学区は、蛇尾川で東西に分断されているという地理的条件から地域住民の交流が希薄になっており、市外の観光客を受け入れる態勢が生まれにくい状況にある。そのため、地域の特性や資源を活用した新たな集客・交流事業を創出することで、地域住民の交流・連携を促進する必要がある。
事業目的	大田原市内外から観光客が訪れる「与一まつり」の前夜祭という位置づけのイベントを開催することにより、観光客の滞在時間の延長、宿泊を促進し、さらなる観光誘客につなげるとともに、地域住民の一体感を醸成することを図る。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催 日時: 8月5日(木)午後1時～午後7時30分 場所: 蛇尾川緑地公園 内容: 的当て大会、火入れ式、能楽体験、抹茶接待、詩吟・詩舞、能奉行、伝統芸能と現代音楽の融合 趣旨: 「せせらぎの舞」と8月6日(金)、7日(土)に開催される「与一まつり」の相乗効果により、来場者数を増加させるとともに、地元との交流、大田原市の文化にふれてもらうことで、「質の観光」の充実を図った。</p> <p>【平成29年度】</p> <p>前年度の事業の評価検討したうえで、以下のことを実施する。 ・県立5校(那須拓陽高校・那須清峰高校・那須高校・黒羽高校・那須養護学校)との連携 ・友好親善都市とまつりの交流</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 320万人【平成26年度 304万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催				
事業費	1,149,000			1,149,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	149,000	0	0	149,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係	
担当者名	飯塚健次	
連絡先	電話	0287-23-8701
	FAX	0287-23-8748
	E-mail	k.iitsuka@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	フクローの郷地域活性化事業
事業主体の名称	フクローの郷を守る会
代表者の名称	五十嵐 清市
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内237
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:人口減少や高齢化の進む地域において、世代間の交流をより密にし、更に住みやすい地域を作る。 ・設立年月日:平成27年4月15日 ・構成員等:大田原市両郷地区の中野内下地域に住み、活気ある地域づくりを目指す各世代の有志
当該事業に係る地域の現状と課題	現在、両郷地区から近隣市町に転出する住民の増加による人口減少や、住民の高齢化により地域社会を維持することが年々困難になりつつある。一方で、地区内の空き家をリフォームし、移住してくる若い家族が現れ始めている。このように地域社会再生の糸口が見えつつあるが、古くから地区で生活している住民が自身の地域の良さを忘れている。今後、どのようにして住民自らが地域の良さを改めて気づき、その良さを共有していくかが課題となっている。
事業目的	住民相互の交流を促進し、地域の魅力を再認識させることにより、住民自らが地域社会の維持を担い、すでに居住している者、新たな移住者それぞれにとって、より住みやすい地域を協働して創りあげ、人が人を呼ぶ好循環を創りあげる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代、地域間交流の促進(きっかけづくり→相互理解) ①そば収穫感謝祭の開催(12月4日) 地元の住民と移住者家族が、種まきから収穫・感謝祭までを近隣地区にも参加を呼びかけ、企画、実施した。 ②そば打ち体験の実施(8月6日) 育成会と連携し、地区の小学生にそばの打ち方を教えることをきっかけにして、世代間交流を図った。 ・地域住民の意識改革の促進(きっかけづくり→理論的理解→人材発掘) ③地域づくり関連の講演会の開催(3月18日) まちづくりの専門家(宇都宮大学地域デザイン科学部教授)を招へいし、地域づくりのノウハウを理論的に整理し、意識改革の重要性を共有し、地域おこしの「スイッチ」を入れるきっかけとなる目的で講演会を開催した。 <p>【平成29年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①～③を反省点等を踏まえて、継続的に実施する。 また、③に、触発された人材を発掘し、新たな地域の担い手になることで、事業の自立を促進させる。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】</p> <p>【目標②】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」(教育活動の充実)</p> <p>【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたい」と思うと回答した人の割合 30%【平成26年度 25.1%】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容					
	①収穫感謝祭を開催 ②育成会そば打ち体験 ③宇都宮大学 地域デザイン科学部の講演会				
事業費	419,851			419,851	
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000			400,000	
うち県交付金	200,000			200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,851	0	0	19,851	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	両郷地区伝統芸能継承事業
事業主体の名称	檀山松葉の会(だんざんまつばのかい)
代表者の名称	菊池 正美
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内182
事業主体の概要	・団体の目的:大田原市両郷地区に古来より伝わる伝統芸能(囃子、太々神楽など)を習得、継承する。 ・設立年月日:平成28年5月28日 ・構成員等:現在及び過去において、両郷地区の伝統芸能に携わった者の有志と事業の目的に賛同する者
当該事業に係る地域の現状と課題	大宮温泉神社へ奉納してきた檀山松葉流囃子、中野内太々神楽などは、地区で代々受け継がれてきた伝統芸能であるとともに、地域コミュニティの一体感を生み、地域の魅力を発信する、貴重な地域資源である。しかしながら、高齢化の進行や若者層の流出により、演者が減少したことで、保存・継承が困難になり、コミュニティ意識の希薄化が進み、地域内外との交流が減少している。地域の誇れる文化として、さらにアピールし、後継者の確保を図る必要がある。
事業目的	継承すべき演目・囃子の発掘・習得・発信し、伝統芸能に携わる人(演者等)、興味を持つ人(ファン)を増やしていくことにより、次世代の地域の担い手を育成するとともに、人が人を呼ぶことで、地域と交流する人口を増やす。
事業概要	【平成28年度】 ①伝統芸能の魅力に気づく(自分たちが気づく) 9月～12月にかけ、毎週2回の練習会を実施した。 ・演目の発掘、習得 ・若い担い手の発掘、確保(定期的に小学生にお囃子を教えることで、保護者を巻き込んだ勧誘活動を行った。) ・他地域との交流(大田原市屋台まつりでのお囃子の披露を通じた市内での地域交流を実施した) ②魅力を伝える(発表・披露の機会を設け、ファンを増やす) 「大宮温泉神社例大祭」(4/9～4/10)、「大田原市屋台まつり」(4/16～4/17 大田原市中心市街地)、「高館まつり」(11/19～11/20 旧両郷中学校)、「歳旦祭」(12/31 大宮温泉神社) ③伝統芸能を進化させる ・楽器、衣装等の伝統を残しつつリニューアルした。 【平成29年度以降】 前年度の事業実施の反省点を踏まえて、PDAサイクルにより、①～③を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 100人(5か年分の累計)【新】 【目標②】時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する(教育活動の充実) 【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたい」と思うと回答した人の割合 30%【平成26年度 25.1%】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①担い手の確保、定期演奏、他地域との交流 ②デジタルデータ化 ③各種イベントでの芸能発表 ④楽器、衣装等のリニューアル				
事業費	1,030,003			1,030,003	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	30,003	0	0	30,003	0

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	k.iitsuka@city.ohatawara.tochigi.jp